

第2期松戸市子どもの未来応援プラン（案）パブリックコメント意見一覧

No	該当箇所	意見	意見に対する市の考え方	修正有無
1	<p>[第2章] P16:「地域や企業、関係団体など、社会におけるさまざまな担い手と連携しながら、社会におけるさまざまな担い手と連携しながら、「すべての子どもの権利が尊重され、心豊かに育つ」まちづくりを目指します。」</p>	<p>P16.「地域や企業、関係団体など、社会におけるさまざまな担い手と連携しながら、「すべての子どもの権利が尊重され、心豊かに育つ」まちづくりを目指します。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松戸市は、「地域学校協働活動」および「コミュニティスクール」の推進が他市に比べて非常に遅れています。地域とともにある学校をめざし、地域コミュニティへの社会教育を促すこと、地域の多様な人が地域の活動に参加し、ともに子どもたちを見守る活動を目指すことが必要です。 ・公民館に準じる施設をはじめ、社会教育施設が松戸市は非常に少ないです。(人口あたり、小学校区あたりの施設数) また、近年、まちの書店もどんどん姿を消しています。子どもたちが学びを得られる図書館の充実、学ぶ場所の確保を希望します。 ・廃校や、廃園になった幼稚園、商業施設(キテミテマツド)などを活用し、地域の人が知り合い、学び、つながり、助け合うきっかけを得られる、コミュニティ拠点となるような公的な施設の設置を希望します。大人も子どももまぜこぜで参加できる居場所の中でこそ、子どもたちは豊かな感受性を育めるはずです。 ・図書館、美術館、コミュニティ(市民活動)センター、地産地消のレストラン、活動体験施設など、子どもたちが一日過ごせる、複合施設の建設を希望します。近隣市からも参加したくなる観光資源として、魅力的な施設をお願いします。テーマは、話題となりそうなサステナブルなものだと思います。 	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>本市では、学校支援地域連携事業を展開し、さまざまな支援活動に、地域の人たちが参画することにより、地域と学校の連携・協働が促進され、地域全体の教育力向上に繋がっていきたくて考えております。</p> <p>また、昨年12月19日に東松戸駅近くに図書館・支所・青少年プラザを併設した複合施設「ひがまつテラス」をオープンし、連日多くの方が訪れ、大変好評を頂いております。ご意見につきましては、担当課と情報共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
2	<p>[第2章] P24・P26・P47:体験活動について</p>	<p>P24・P26・P47:体験活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育と、青少年教育、社会教育、市民活動、ボランティア体験などは、もっと連携し、子どもたちを総力戦で育てる必要がある。各分野で同じような事業があるはず。まずは行政の縦割りの状況から変えてほしい。地区内で一人の人がいくつもの組織で役を求められている現状をなんとかしないと、いつまでたっても新しい担い手は出てこないと思います。横浜地域づくり大学校が参考になると思います。 ・保育園がたくさんできましたが、園庭がない小規模保育を作るなら、子どもたちの体験のため、散歩して遊びに行く公園設備の充実と、トイレの改装もお願いします。 ・小中学生・高校生などが、無料で様々な新しいスポーツにもチャレンジできる施設が欲しいです。大きな道路の下の空き地や、スケボーパークやバスケットコートなどはどうでしょうか。地域の公園にも、バスケットゴールくらいつけてほしいです。建物を新設しなくても、屋外で技術を磨けます。また、ボルダリングやスラックラインなど、楽しく体幹を鍛えられる場所があるといいと思います。こうした楽しみがあると、もっと外で過ごす子どもが増えてからだと心の健康につながります。 	<p>貴重なご意見ありがとうございます。頂いたご意見は担当課と情報共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>	無

No	該当箇所	意見	意見に対する市の考え方	修正有無
3	[第2章] P33:「自分の将来が楽しみだ」と思える中学生の割合が、小学5年生に比べて著しく低下しています。	P33:「自分の将来が楽しみだ」と思える中学生の割合が、小学5年生に比べて著しく低下しています。中高大学生などが、地域の課題を知り、チームで取り組んで解決し、地域で役割を持ったり、誰かに感謝されたり、達成感を感じたりする中で、自己有用感を感じます。今後の社会でも活躍する人材を育てることになります。体験不足になっている現代の子どもたちこそ、担い手の一員として地域の活動に入ってもらうべきです。また、本気で働く大人の姿を間近で見ることで、将来への希望を持ちます。キッズニアみたいなものではなくて、大学や商工会議所などと手を組んで、本物のキャリア教育をお願いします。日立市の職業探検少年団が参考になります。	貴重なご意見ありがとうございます。ご意見のとおり、子どもの中での活動や体験は、とても重要であると考えております。他市の事例を含め、今後の参考とさせていただきます。	無
4	[第2章] P19:(9) [第3章] P60の事業の進捗に関する指標	P19:(9) 進学の状況で、生活保護世帯の高校進学率がコロナ禍の影響か令和元年は上昇していたものが令和2年度は1割近くも減少傾向となっています。また、P20では大学進学率も同様に減少しています。生活保護世帯への学習支援も拡充されていますがさらなる取り組みが必要と考えます。コロナ禍ではP24・25・P43にも記されていますが、さらなる子どもの居場所づくりが必要と考えます。ひがまつテラスもできましたが、P60の事業の進捗に関する指標では児童館の数も書かれていません。児童館設置の目標を明記して取り組むべきと考えます。	子どもの学習支援につきましては、第1期計画策定時から実施会場を増設して取り組んで参りました。児童館・こども館については、P60で指標として令和6年度まで7施設を増やすことを明記しております。	無
5	[第2章] P8:第2章第1節 国の法律や制度の改正等で、幼児教育・保育の無償化が令和元年10月から行なわれました。 [第4章] P83:主な事業82	P8:第2章第1節 国の法律や制度の改正等で、幼児教育・保育の無償化が令和元年10月から行なわれました。 P83:主な事業82(幼児教育・保育の無償化)新規でもP8と同様の内容ですが、これについては子育て世帯にとって一番経済的にも大変な0歳~2歳児が無償化の対象外となっています。共働き子育て日本一を標榜している松戸市は国・県に0~2歳児を無償化の対象にすべきと目標設定する必要があり明記すべきです。	貴重なご意見ありがとうございます。幼児教育・保育の無償化につきましては、今後も国の動向に注視して参ります。	無
6	[第4章] P71:学校・地域・行政等が連携した地域づくり	P71 学校・地域・行政等が連携した地域づくり 学校支援地域連携についての言及もあり、協働が推進されることはとても良いことだと思います。そこで気になるのがPTAの存在です。松戸市PTA連絡協議会が子ども・子育て会議の関係団体として構成委員を務めており、保護者と教職員で構成されるPTAが、市内の子どもたちの育ちに寄与する存在と認識されているからだと思います。しかしながら、PTAは任意団体にも関わらず、加入を強いたり、活動を強要したり、また、非加入世帯の子どもを差別する活動を校内で行ったりする団体が存在しています。これは、子どもの育ちに悪影響を与える可能性はもちろん、子育て世帯の生活にも影響する問題です。今後も松戸市PTA連絡協議会を関係団体とするにあたっては、PTA自体の在り方の検討および是正を行政として取り組む姿勢が必要であると考えます。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。	無
7	[第4章] p71-73・ P29:学校支援地域連携事業について	P71-73・P29 学校支援地域連携事業 について 地域連携のイメージ図に、地域学校協働本部の記載がありません。学校・地域・行政連携の中心に据えるべきではないでしょうか。また、地域コーディネーターを配置し、各学校区ごとに、学校・地域・行政の連携が必要だと思います。学校を支援するもの、という一方的な考えではなく、学校を中心にお	地域や学校の実態に応じて、連携・協働が進んでいるところです。「地域学校協働活動」や「コミュニティ・スクール」の取り組みは、その手段の一つであると捉えております。	無

No	該当箇所	意見	意見に対する市の考え方	修正有無
		<p>いて地域の人の子育てに参加することで、地域の人、役割や生きがいを感じられる活動とすべきです。「地域学校協働活動」「社会に開かれた教育課程」に本気で取り組むことが、地域の様々な課題を解決に導くことができると思います。法制化されていますので、いつ始めるか、だと思えます。ここまで子育てしやすい街として、色々な施策に取り組んでくれた松戸ならできると信じています。「地域学校協働活動」「コミュニティスクール」を市川に負けずに推進してください。</p>		
8	<p>[第4章] P72：地域連携イメージ画</p>	<p>P72の地域連携イメージ画とても理想な図。松戸市は東京に隣接しほとんどが都内で働き地元意識は投票率の低さから明らかである。しかし、コロナ禍の今、人との繋がりの大切さを感じていると思う。本当は関わりを持ちたいと思う人は多く、「島根県雲南市の様なおせっかい事業化」の様な松戸市ならではの市民に根付くまちづくりのアピール等が必要と思う。全ての子供が子供らしく将来を夢希望を自由に大きく持ち又次世代にバトンを渡していく為には大人も一人一人が生き生きとする事が子供の望みの希望と活力になる。保護者にとっての子育てしやすいまち、日本一となっているが、本当は子どもからはどうなのだろう？と感じている。中高生迄の取り組みがようやく進んでいるがその前の今の大学生はほとんど松戸市に対して郷土愛を感じていない。松戸市はつまらない柏市に遊びに行っていた。新松戸には青少年会館が以前からあり松戸市市民交流会館もある。明地区は幼、小、中、高が多い地区だが基本徒歩、自転車で移動する子供達。何も無い。松戸駅周辺も。松戸にもようやく中高生のための居場所は出来ても狭くて行きにくい。東松戸に出来たひがまつテラス。ようやく理想に近いものが出来たと思う。もっと理想モデルは「武蔵野プレイス」若者広場でコロナ禍では出来ていないだろうが、以前はラーメンを食べながらも友達と話したり勉強も頭の良い子が同じスペースにいて聞いていたりしていると。見守る大人も勿論いる。一人っ子も多く縦の繋がりもあるという。こうした公共施設は基本無料である。ひがまつテラスの拡大版を図書館本館の新築をし、大学生まで利用でき松戸市に住み続け、家庭を持ち子育てと一生であれば市の財政にもつながると思う。そういった投資は必要だと思う。貧困で体験やどこにも連れて行けない、学習面もなかなかという問題は図書館等で少しは解決出来るのではと思う。虐待を受けている子、一時避難場所になったり多忙な保護者の関わりが少ない、将来への希望が持てない、学習面の不安も道標が見つかるかもしれない安心出来る場所、保護者以外で頼れる大人との出会いにもなるだろう。子供は勿論全ての人が家庭以外でも安心出来る居場所がある事はバランスを保つ事にも繋がると思う。</p>	<p>子どもは親のほか、様々な大人との関りの中で成長する存在でございます。ご意見のとおり、大人も一人一人が生き生きと生きていることが子どもにとっての希望と活力になると存じます。子どもが地域の様々な人々に見守られながら健やかに成長できるよう、多種多様な子ども・子育て支援を通じて交流や体験の機会の充実を図って参ります。</p>	無
9	<p>[第4章] P74：第2節支援につなげる</p>	<p>P74：第2節支援につなげるピアリング前、保護者がひきこもってる、支援を知らない等対象者との接点が難しいと思う。支援に繋がったとしても生活状況が良くなる迄の人間関係が大事かと。ちょっとしたすれ違いから逆戻りの道にならない様保護者の心をとかすような支援であって欲しい。</p>	<p>支援や見守りにあたっては、子どもや保護者の気持ちに配慮し、寄り添いながら支援につなげていく必要があるため、支援に関わる一人ひとりの知識や対応力を高めて参ります。</p>	無

No	該当箇所	意見	意見に対する市の考え方	修正有無
10	[第4章] P78:「支援の必要な子どもや子育て家庭の課題を早期に把握し、適切な支援につなぐ」	P78:「支援の必要な子どもや子育て家庭の課題を早期に把握し、適切な支援につなぐ」事業の中に、新たな母子に特化した訪問看護ステーションの設置を検討するよう要望します。これまでよりもコロナ禍ではさらに妊娠・出産・子育てを相談できないで孤立しがちな状況になっていると考えられるため、週に1回は電話や訪問ができるような母子に特化した訪問看護ステーションの検討が必要と考えますので追加してください。	支援の必要な子どもや子育て家庭の課題を早期に把握し、適切な支援につなぐため、市内3か所に親子すこやかセンターを設置し、電話や訪問等による相談支援に取り組んでおります。今後も親子すこやかセンターでの相談支援の充実と併せ、養育支援訪問の拡充や、支援が必要な児童に対する自立支援などの新しい取り組みを進めて参ります。	無
11	[第4章] P82:第3節 P82:第3節 生活を応援 主な事業 74 子ども医療費助成制度	P82:第3節 生活を応援 主な事業 74 子ども医療費助成制度について、高校卒業まで或いは18歳まで拡充が必要です。また、1回200円の窓口負担もなくして全部助成が子育て応援になります。以上、追加よろしくお願ひします。	子ども医療費助成制度については、高校生まで拡充にむけ検討を進めているところです。	無
12	[第4章] P95:GIGAスクール構想	P95:GIGAスクール構想 コロナ禍により計画が前倒しとなったことから、導入が早まったことは喜ばしいことだと思います。しかし、それだけでなく人材不足に苦しむ教育現場においては、教員間のICTスキルの格差、やる気の格差など、解決すべき課題が山積しています。これにより、学校間の取り組み状況は乖離の一途です。解消のためには、ICT支援員の積極投入が最低条件だと思われませんが、現状は市内に4名で、1校あたり月に2回、午前か午後に来訪するに留まっています。一刻も早く支援員を増員し、学校間格差の是正と、P95にあるとおりICTを効果的に活用できる環境整備をお願いします。	貴重なご意見ありがとうございます。 ICTは、児童生徒にとって学習手段の一つと捉えております。各学校において、効果的な活用が進んでいくようICTの支援員の派遣や、研修等の充実を図り支援して参ります。	無
13	全体	松戸在住の主婦です。まずはじめに結論から、私はこの未来応援プランには全く納得していません。私は小学生の子どもを育てています。子どもは親の所得制限により国からの令和3年の子育て世帯へ給付金10万円が不支給になりました。今年10月からの児童手当も対象外になります。市内には同じく7000人の対象外がいると聞きました。このことについて市に問い合わせましたが、なんの説明もなく市の財源での対象外への支給はありません。ご理解ご協力ください、とふざけた内容でした。国が許可した地方創生臨時交付金の利用はどうか問い合わせても同様の心無い回答でした。まず、国が定めた所得制限のラインは曖昧であり、繰り返される増税や値上げ、こどもがいる世帯は教育費が重くのしかかり、決して余裕のある生活ではありません。そして我が家の子どもも他の子供たちと同じように、新型コロナで楽しみを長期間奪われ、新しい生活様式に慣れようと必死です。悪いこともせず、不満も言わずたんたんと学校や習い事に取り組んでいます。支援から外れるような悪いことをしましたか？市長は子育て世帯の転入を狙って未就学児への手厚い支援をしていますが、それ以降の年齢になると支援は薄く、問題も放置気味です。学校はどこもポロ校舍、図書館も貧相です。避難所指定されている学校なのに雨漏りのひどさにもびっくりです。第二期子供みらい応援プランを見ても国の方針同様、貧困層の支援、マイノリティのみに限られ偏っています。国からの命令に最低限従うのみ、市独自の子供のための案は見られませんでした。支援から外されている身からすると、国の支援に乗っかり、実際は	ご意見ありがとうございます。 コロナ禍においては、お子様・ご家庭に様々な制約がかかり大変な日々を過ごされていることと思います。また、本年度の子育て世帯への臨時特別給付金につきましても、ご希望に添えず申し訳ございません。 本プランは子どもの貧困対策を推進するための計画であり、限られた資源を有効に活用し、支援を必要とされている子どもが家庭の環境や経済的な状況にかかわらず社会からこぼれ落ちることが無いよう総合的に取組を進めていくための計画でございます。何卒ご理解のほどよろしくお願ひ致します。	無

No	該当箇所	意見	意見に対する市の考え方	修正有無
		少数の子供を支援しているだけで松戸市は子供全体をしっかりと支えているかのような、過剰アピールにしか見えません。		
14	全体	不登校児に関しても資格や専門知識があるのかわからない NPO の善意頼み、全く予算をつけないで乗り切ろうとしている魂胆が見え見えます。失礼承知ですが、大切な子供を一か八かのよくわからない団体に預けられますか？我が家は習い事をいくつかしていますが、話を聞く限り、習い事の先生方が学校での現状を把握し、学校でのつまづきや問題をフォローしている実態もあります。学年始めや GW 明けは子供の様子をよく見てくださいね、と言ってくれるのは学校の先生ではなく習い事の先生です。手厚く個人にあった目標を立てて、成長の道筋を立ててくれるも学校ではなく、有料の習い事や塾の先生です。前日、子供が通う学校から不登校に関するお手紙が配られました。相談担当は教頭、教務主任、保健室の先生、スクールカウンセラーで、専門家を増やすではなく、激務と言われている先生方に更に負担をかけるやり方の印象を受けました。これだけ先生は忙しいと言われている昨今、これ以上の負担を考えると相談する方も恐縮してしまい、相談しづらくありませんか？子供たちは多くの時間を学校で過ごし、学校との連携は大切だと思うのですが、この応援プランにはそれがありません。学校にはこれ以上予算を費やしたくない、パンク寸前の学校現場からこれ以上の反発を避けたい、という思惑もひしひしと伝わってきます。プラン内容に家族でテレビ番組の話をしませんか？という項目もありました。昭和の方が考えている案でしょうか？令和を生きる子どもたちの声は反映されているのでしょうか？高い税率の納税していて、支援から完全に外れ、子どもがその恩恵すら受けられないのはなにかの罰でしょうか？どんなメッセージ性がありどう受け取ればいいのか？住まいを松戸を選んだ過去の自分、自治体のためふるさと納税控えていた自分が本当に馬鹿らしいです。住民税の納税もできるならば拒否したいくらいです。先日、頑張っている子供にご褒美にディズニーに連れていきました。貴重なお年玉 1000 円をディズニーで使うんだと意気込んでいましたが、小さいキーホルダーでも 1700 円、値札を見ては戻しを繰り返している姿に悲しくなりました。10 万円給付がもらえなかった子供の現実です。足を引っ張るような、日本総貧困を目指すような支援ではなく、底上げして全体が良くなるような、公平な支援を望みます。子どもたちはあたたかい絆で誰ひとり残らず支援が受けられることを望みます。※該当ページは全て、全て見直してほしいです。	不登校に関する支援策としては、松戸市適応指導教室（ふれあい学級）や学校・家庭支援ステーション（ほっとステーション）を設置しております。ほっとステーションでは訪問相談事業を実施し、家から出られない児童生徒の家庭に対し、アウトリーチ型の支援を行っています。また、ほっとステーションに来室してくる児童生徒の居場所として、運動や遊び、学習活動への支援を行っています。さらに、スクールソーシャルワーカーが、地域の関係機関と連携しながら児童生徒の課題解決のため家庭環境の改善に向けて取り組んでいるところでございます。本プランでは「社会全体で応援」を基本施策の先頭に位置づけており、頂いたご意見のように、子どもたちにあたたかい絆で誰ひとり残らず支援が受けられるよう、社会全体で子どもの貧困対策を進めて参りたいと考えております。	無
15	全体	子供の貧困は子供自身が望んでなるものではない事。親、もしくはその前の代からでもあるだろう。親の経済的、心身の状態を良くすることが重要と思う。虐待も事件であがる以外でもぎりぎりの所も多いかと推測する。事件で親が無職の場合が多く、何故？なのかと思う。生活はどうしているのか？と。雇用されない状況があるのか、その人なりの理由、働きたくない、続かない等からなのか、仕事とのマッチングがないのか。また、健康状態が悪い場合もあり本当に病気もあるが精神からはないのか？保護者の看病でヤングケアラーの問題も含まれているのではと思う。保護者が就業してないと子供も不規則な生活にもなりやすく学業、健康面にも影響した連鎖につながりやすい。	貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘のとおり、子どもの心身の健全な成長のためには、良好な家庭環境が重要でございます。そのため、保護者の就労・生活支援、妊婦への支援、保育施設や学校における支援、地域での子育て支援等、切れ目なく必要な支援が提供されるよう、関係機関における情報共有と連携の促進を図って参ります。	無